

## 2023 年度 第 6 回 理事会議事録

掛川電気工業協同組合

1. 招集年月日 2024 年 1 月 19 日
2. 開催日時及び場所 2024 年 3 月 15 日 理事会 16:00～16:50  
掛川電気会館 2F 会議室
3. 理事の数及び出席理事の数  
理事 6 名 出席理事 6 名
4. 出席理事の氏名  
(理事長) 鈴木基文 (副理事長) 阿形正好  
(理 事) 榛葉一仁、鶴田昌伸、木村正勝、仲村文宏
5. 出席監事の氏名  
無し
6. その他の出席者氏名  
事務長 水野智義
7. 議長の氏名  
鈴木基文
8. 議決事項に特別の利害関係を有する理事の氏名  
なし
9. 議事の経過の要領及び議案別の議決の結果  
■11 号議案は継続審議とし、その他の議案は出席理事の全員多数決議により、  
議決及び原案通りに可決承認された。

定款の規程により理事長が挨拶の後、理事長鈴木基文が議長席について開会する旨を述べて議事に入った。  
議長は、先ず、事務長に会議の進行を委任した。  
これにより、事務長は事前資料レジュメに沿って会議の開始をした。

### ■議題審議

#### 第 1 号議案:脱退予告について (報告)

下記の 1 事業所が今年度末 2024 年 3 月 31 日付にて、廃業で脱退されます(今期脱退 6 事業所となる)  
3 月 8 日に組合事務局へ連絡があり、受理しましたのでご承認をお願い致します。

➤ 磐田ブロックの㈲共栄通信 (山内郁夫 様)

#### 第 2 号議案:県工組より弔慰金・見舞金制度について (報告)

2024 年度の全日電工連の弔慰金・見舞金制度の会費の納入依頼により、4 月に会員様全員対象に  
徴収させていただきます。  
ご承認をお願い致します。

第3号議案:政治連盟会費について (報告)

2024 度の「政治連盟会費」の集金をお願いします。

ご承認をお願い致します。

- ・ 会費            500 円／組合員 1 人・年間
- ・ 集金            5 月末日までにブロックごとまとめて組合事務局へ支払う  
                    領収書はブロック宛に発行
- ・ 納入            県工組→全日電工連政治連盟へ納める

第4号議案:2024 年度の久保区区費の納入について (連絡)

区費を 5 月に 15,000 円支払しますので、ご承認をお願い致します。

第5号議案:第2種電気工事士(学科)事前準備講習会について (報告)

標題の件ですが、事前受験準備講習会の参加者が少ない為に、鈴木理事長の決定により中止と致します。  
ご承知おき願います。

第6号議案:決算収益見込みについて (連絡)

昨年の上期終了時点の赤字転落危機の年度末見込みの通り

今年度末の決算収益見込みは予測として、約 160 万円程度の赤字となります。

第7号議案:ホームページ掲載情報発信…会員専用パスワード kaka でログイン (報告)

本日の理事会以外的重要内容はホームページに掲載しています。

会員の皆様に理事の方は適切に情報連絡をお願いします。

- 1 月…4 件数
- 2 月…10 件数

第8号議案:2024 年度通常総会対応及びシナリオ等について (連絡)

今年の 6 月の総会は実施予定ですが懇親会を含め希望者のみ出席と致します。

総会の直前 1 か月前に 5 類感染症等、重篤な感染症拡大が懸念される場合は、縮小総会とします。

- 事務長作成の総会資料は印刷前の 5 月初旬までに、事前に PDF にて各理事に  
メール送付いたしますので、理事の役割責任として、必ず資料のご確認と間違いや修正の  
必要な指摘事項の抽出をお願い致します。  
会員様へ配布する大切な総会資料ですので、間違い項目は事務長まで  
速やかに又は 5 月 13 日までに連絡をお願い致します。

(また、当日の役割分担も作成して送付いたしますので、併せて宜しくお願い致します)

- 総会運営における、シナリオについては 5 月 27 日(月)までに事前メール送付します。  
電気会館にて、5 月 31 日(金) (10:00～) の理事会当日の読み合わせを行いますので  
必ず出席して下さい。

- ・ 議長候補も参加する…6 月通常総会の今回の議長は袋井 BL からの選出を 4 月 12(金)までに  
事務長まで連絡をお願い致します。
- ・ 監事は出席しない

#### 第9号議案: 県工組の表彰について (報告)

5月の県工組の総代会において、表彰があります。

ご希望される事業所は該当者のリスト提出をお願い致します。

■事業所名、氏名、読み仮名、勤務年数、生年月日を明記して下さい。

■提出締切日は、3月29日。

【永年勤続優良従業員】…(過去に表彰された方は除く)

2024年の5月時点において、引き続き同一事業所において、20年以上の勤続従業員の人です。

#### 第10号議案: アスベスト特別教育講習会について (報告)

標題の応募結果として、37事業所の80名が受講される予定となりました。

3月7日、ご案内の詳細と申込手続きを出席事業所へFAX送付を致しました。

・講習会開催日…5月15日(水)

・場所…掛川生涯学習センター

追加で出席をご希望の事業所は4月17日(水)まで手続きの受付を致しますので事務長の水野までご連絡をお願い致します。

また、各理事は追加応募に関して、BL会での周知をお願いします。

詳細案内と申込手続きはホームページに掲載しておりますので、ご閲覧下さい。

#### 第11号議案: 重要議案提案について (連絡)

【資料1】

今回の理事会において、各理事からの重要議案の提出はありませんでしたが

昨年11月、第4回理事会第2号議案に関して事務長より組合財政運営に関する議案テーマが別紙資料1により提案され鈴木理事長が議案審議承認されましたので、本日、議論を実施します。

■結論…ブロック会で周知し、その反映を議論する理事会継続審議となった。

#### 第12号議案: 2F会議室の空調機修理について (報告)

標題に関して、2F会議室の空調機が故障し修理を実施します。

下記の3社の競合見積もり提出の結果、(株)立正電気为本日の理事会において承認されました。

4月～5月に修理を実施致します。

・(株)掛川空調サービス 180万円 (当初の設置会社)

・浜電工業(株) 170万円

・(株)立正電気 154万円

#### <次回の理事会開催日>

2024年5月31日(金)

10:00～12:00

掛川電気会館にて

上記のとおり議事の顛末を記録し、ホームページに掲載する。  
出席理事全員が記名捺印後、原紙は事務長が保管する事とする。

2024 年 3 月 15 日

議長理事	鈴	木	基	文	⑩
理事	阿	形	正	好	⑩
理事	榛	葉	一	仁	⑩
理事	鶴	田	昌	伸	⑩
理事	木	村	正	勝	⑩
理事	仲	村	文	宏	⑩



2023 年度

【第 6 回 理事会資料】

2024.3.15

掛川電気工業協同組合

## 【テーマ】

## 掛川電気工業協同組合

## 経営に関する今後の財政運営に係る検討について

2024.2.22

(改訂)2024.3.8

作成 事務長 水野智義



- 背景 掛川電気工業協同組合の会員数は過去 10 年間に於いて 34 事業所の脱退減少をした。  
反面、入会数は過去 10 年間で 4 事業所のみである。  
現在の会員数は 100 事業所、来期 2024 年度には 94 事業所まで低下する見込みである。  
他の支部も同様な減少低下傾向状態となっている。  
しかし、県工組は理事会がほとんど無く、静岡県として会員の減少に対して  
何の対策もせず全て各支部任せである。
- 目的 現状の課題を克服し、掛川電気工業協同組合組織の持続可能な実現を果たす為に  
効率的かつ改善的な財政運営を図る。
- 目標 2025 年度の通常総会において財政運営に係る議案提出をして、賛否を諮る。
- 目標要件 各ブロック会で意見集約を図り、理事会において様々な検討対策の合意決定を導く。
- 現状問題
- ・ 2023 年度の総会決算資料のとおり、  
現在は固定資産が多く流動資産(現金・預金)が少ない。
  - ・ 今後の予測検証の結果、会員数が 82 事業所になると財政は破綻し  
脱退者への出資金が返済できなくなる。
  - ・ 2024 年度は、2023 年度末に 6 事業所が脱退し出資金返済(294 万円)を支出する。  
また、2F 会議室の故障エアコン 3 台の修理(154 万円)を予定する。  
組合事業として職長教育講習会(130 万円)、アスベスト特別教育講習会(30 万円)を  
実施して事業収益として稼ぐが、それでも全体として赤字になる。
  - ・ (株)掛川センターからの業務受託金収入に関しては上限であり、更に増額は出来ない。
  - ・ 会員の高齢化・後継者不足により今後も事業主の脱退が増加する。
- 課題 組織の普遍的価値の共有と理事会がリーダーシップを発揮して高い志と勇気をもって、  
それを貫く信念をもって掛川電気工業協同組合は、  
今後の財政運営の危機感を会員全員で共有し、これからの財政運営を安定させ  
組合組織の持続可能性を追求する 対策プランを構築する必要がある。
- あるべき姿 組合は創立 67 年が経過し、先人達の努力により相互扶助の精神によって  
業界の発展と共存共栄を成し遂げ、今後も原点フィロソフィーを尊重し  
地域社会への貢献に向けて持続性ある財政基盤を確立し、  
次の若い世代に繋げて、更なる発展を目指す。

## 1案. 賦課金の増額

それぞれの会員事業主は現状より 2,000 円/月の増額支出をして  
組合財政は年間 228 万円の増収を確保する。

さらに、今後も会員の脱退が多くなるに従い事業主の賦課金も更に増額して行く。  
しかし、これは会員に負担増加として迷惑がかかる事になる。

■現状の各支部の会員数と各支部会員の毎月賦課金(会費)彼我比較  
(別途、県工組賦課金 2,000 円)

支部名称	会員数	会員賦課金	特徴
清水	57	4,800 円	清水港祭りで収益確保も財政難
静岡	99	3,800 円	掛川支部と同様に財政難
藤枝	79	12,000 円	財政資金確保の為、高額である
南榛原	28	9,500 円	会員が少なく高額でも財政難
掛川	100	4,700 円	財政難
浜松	195	4,000 円	会員が他の支部より多い

## 2案. 有効活用されていない土地の部分売却

組合・センターが登記に関して委嘱している桑原司法事務所の管理にある  
掛川市不動産会社(アーガス)の電気会館敷地の売却単価は坪 18 万円の見積価格である。  
また、今後においてハウスメーカーと交渉すれば、更に高値で売却できる。  
電気会館敷地的一部分である北側エリア(別紙写真図の赤枠部分)24m×19m=456m<sup>2</sup>  
138 坪(456 m<sup>2</sup>)を売却する…島田掛川信用金庫の抵当権は解除する(費用 2 万円未満)  
138 坪×18 万円=2,484 万円となる(売却時の税、手数料は 140 万円程度の支出見込み)  
上記の敷地一部の売却により現金・預金が多くなり、財政運営が安定する。

★結論…約 2,300 万円の収入キャッシュフローにより

組合の会員総数全体が 30 事業所まで低下しても、財政運営は健全となる。

■現状の各支部の電気会館建物敷地を除く余地(駐車場敷地面積)彼我比較

支部名称	余地(駐車場面積)
清水	266 m <sup>2</sup>
静岡	332 m <sup>2</sup>
藤枝	23 m <sup>2</sup>
掛川	1,299 m <sup>2</sup>
浜松	597 m <sup>2</sup>

## ■土地部分売却検討内容の結果について

- ・掛川電気会館の駐車場敷地面積は他の支部と比較して突出して敷地が大きい。  
有効活用されていない北側部分を売却しても、まだ 843m<sup>2</sup> もあり  
他の支部の中でも最大の余地(駐車場敷地)を保有する。
- ・掛川電気会館の北側一部の売却した場合は雑所得のパーキング契約所得は  
1 年間で約 25 万円が損失となる(現在の利用者とは解約手続きをする)
- ・駐車場の一部売却により固定資産税が年間 20 万円程度、安くなり利益となる。
- ・売却した場合において会議や昇柱訓練、職員通勤車スペースなどに支障は出ない。  
また、会員・外来者の駐車スペースにも支障は出ない。



### 3 案. 金融機関からの借入金

毎年、通常総会の議案承認をいただいている借入限度額 5,000 万円の範囲で借金する。しかし、必ずいつかは金利を含めて返済しなければならず確固たる返済プランもなく、会員の返済寄付金や助成金支出が必要となり、現実的でない。

### 4 案. 事務長の勤務体制を変えてコストダウン

各支部において事務長を配置しているのは浜松支部と掛川支部だけである。しかし、他の支部は事務長不在により経営・組織を管理するマネジメントの弊害が生じている。

掛川支部は今後も事務長不在にするべきでは無く、事務長の勤務体制を非常勤にして週 2 日～3 日の勤務に変更する事により、毎月の事務長基本給 18 万円から、8 万円削減すると年間約 100 万円がコストダウンで捻出できるが、財政は健全化にはならないので、赤字運営による継続は続く事になる。

#### ■上記の勤務体制変更リスクとしては、

- ・会員の突発的・緊急的な要望に対応出来ない。
- ・センター管理業務も兼務している為、センターの緊急的な対応が出来ない。
- ・外部組織・企業の緊急的な交渉に対応出来ない。
- ・大切な会議やイベントに出席出来ない場合がある。
- ・緊急地震や災害などの対応が出来ない場合がある。
- ・組合・センター女性職員へのマネジメントが低下する。
- ・給与面の低額(毎月給与 10 万円程度)により、  
これからの事務長後任の採用時において最適任で優秀な人材確保が困難になる。

➤ スケジュール 以上の事務長対策案及び各理事の各ブロック会において他の対策案の抽出や意見集約を実施して、今後は 7 月・9 月の理事会で更に継続協議を実施し 11 月理事会までには理事会において決議した課題解決対策に関して、各ブロック会の事前承諾を得る。

総会時決議は委任状が多く、会員の合意形成総意を十分に反映するべきであり、2025 年 2 月には役員改選同様に、会員の皆様へ総会事前議決権行使書を発出し、理事会で決定した課題解決対策について会員全員の回答を確認し、2025 年度の総会時における賛・否を事前決議で諮って決定しておく事にしたい。





画像 ©2024 Airbus、地図データ ©2024 5m

< 赤井部分 >

